

プラズマ・核融合学会第29回年会 インフォーマルミーティングIV 計算科学研究部会会合  
2012年11月29日、クローバープラザ、春日市(福岡)

## 第2回課題選定常設委員会報告

矢木雅敏 (原子力機構)

# 第2サイクル

---

- ▶ **2012/06:**
  - 第2サイクル募集開始
- ▶ **2012/07:**
  - 募集締切（審査開始）
- ▶ **2012/09/15:**
  - 審査締切
- ▶ **2012/09/25-26:**
  - 第2回常設委員会会合（計算資源割り当て）
- ▶ **2012/11/15:**
  - 第2サイクル開始
- ▶ **2013/11/14:**
  - 第2サイクル終了

# 第2サイクルの応募

- (51 EU + 30 JA + 1 ITER) Projects Received ~ 270 Users

Category	EU	JA
Plasma Turbulence and related transport processes	25	11
Fast particle physics	5	4
Linear, Nonlinear and/or Extended MHD	15	8
Edge physics	9	4
Heating and Current Drive	4	4
Integrated modelling of fusion plasmas	6	7
Reactor materials	9	5
Reactor technology	8	3

- **Proposals considered by the Committee**
  - New Projects (19 EU + 6 JA + 1 ITER)
  - Continuation of previous Projects (32 EU + 24 JA)

# 利用可能計算資源

---

- 申請計算資源 : 70.6 M node-hours
- 利用可能計算資源 :  $337 \times 24 \text{ (hours)} \times 4410 \text{ (nodes)}$ 
  - Supposing 4410 nodes all the time
  - Supposing Helios used at 100 %
- 35.7 M node-hours
- StC : 80 % of total : 28.5 M node-hours
- **申請倍率(=申請量/利用可能量): 250%**
- Each IA : 10% of total : 3.57 M node-hours
- **常設委員会判断 : 25% の割増割り当て**
- **StC projects への配分資源: 35.66 M node hour**

# 割り当て方法

---

## ▶ 委員による評価

- 常設委員会：10名
- 外部委員：18名
- 1提案に対し，常設委員会1名＋外部委員1名  
日本1名＋EU1名

## ▶ 7件を不採択：

- 効率的利用が見込めない等

## ▶ StCとしては学術的評価に基づき，ITERからの申請も採択

## ▶ 申請資源量と評価点数から，割り当て資源量を決定

# まとめ

---

- ▶ 第1サイクルについては、後半は計算機が比較的順調に運用され、大規模ジョブも利用可能となった。
- ▶ 第2サイクルについて、82件の申請があり、利用可能資源の2.4倍の申請であった。
- ▶ Terms of Reference に従って、第1サイクルと同様に、審査、採択、資源割り当てを行った。
- ▶ 75件の申請が採択され、利用可能資源の25%増しである 35.41 M node hours の資源が、日欧ほぼ同量で割り当てられた。